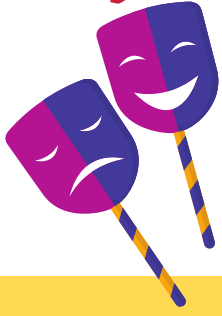


ティーネのいいね！ドイツ

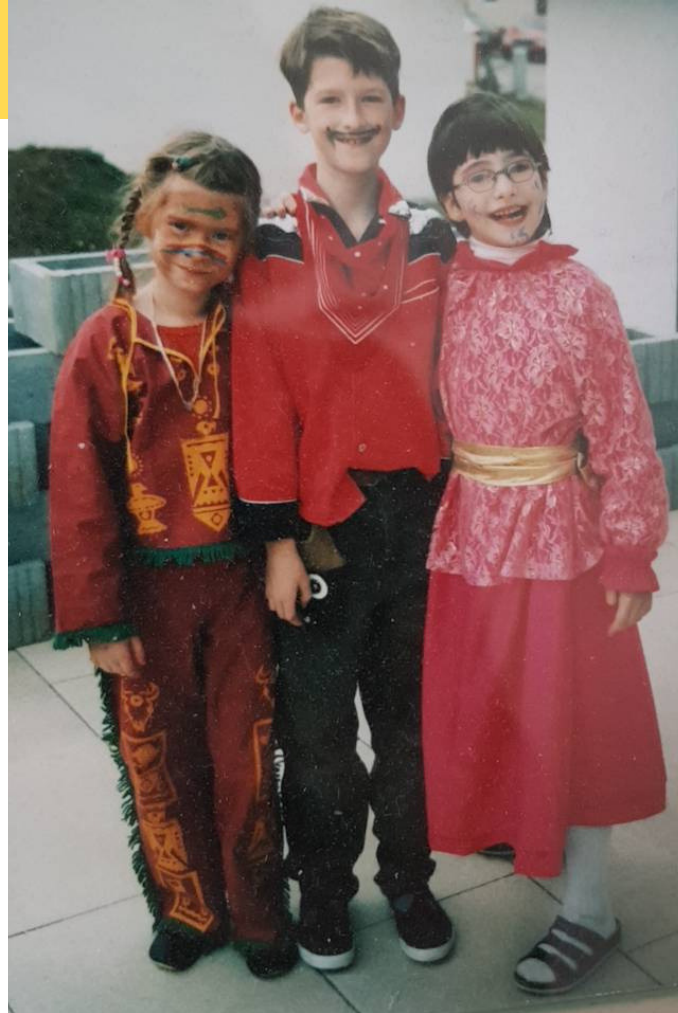


沼田市国際交流員が教えるドイツ

ドイツに四季があると思いますか？実は「五季」があると言われています。「第5の季節」と呼ばれているのは「カーニバル」か「ファシング」か「ファストナハト」など、様々な呼び方があるイベントのシーズンです。

ドイツのカーニバル

ドイツ西部、ライン川沿岸一帯のラインラント地方やカトリックの影響が強い地域では、「カーニバル」が11月11日11時11分11秒に始まり、「灰の水曜日」まで続けます。「灰の水曜日」は復活祭（イースター）の46日前です。復活祭が春分後の最初の満月に続く第一日曜日なので、今年の「灰の水曜日」は3月6日となります。そしてドイツ全国でカーニバルが一番盛り上がるのは「灰の水曜日」までの最終週です。その始まりの木曜日は地方によって色々な呼び名があり、「汚れた木曜日」とも呼ばれています。そしてこの木曜日に行われるのが「Weiberfastnacht（ヴァイバーファストナハト）」女性のためのカーニバルです。Weiberは「（あまり品のよくない）女性」で、「fastnacht」はカーニバルの意味）です。その日は男性にとって恐ろしい「狩り」が行われます。女性が男性の象徴のネクタイを切って回るという習慣があるからです。切った後はホッペにチュッとキスするから「狩る」方はもちろん、字面とは裏腹に「狩られる」方もその風習を結構楽しんでます。



カーニバルは仮装を着ながら愉快地遊ぶシーズンで、プライベートと公式のカーニバルパーティーやダンス・パーティーがたくさんあります。カーニバルが終わる前に、様々なまちで「バラの月曜日」（Rosenmontag）のパレードが行われます。参加している団体の中で、巨大な山車に乗っている団体が多くて、山車の間に仮装して歩く団体やミュージシャン（マーチングバンドなど）もパレードに参加します。観覧者の大勢も仮装して、パレードの山車を見に行きます。団体の方々がよく観覧者に小さいプレゼントやお菓子などを配ります。お酒をいっぱい飲んでいる大人がカーニバル時期には多いので、救急隊員が忙しくなります。

カーニバルが人気なまちでは、仮装をして、そのまま仕事に行けるところもあります！職場の皆さんもだれかが仮装をしてもビックリしないはずです。州によって、学校にカーニバル時期の特別な休みもあります。

ドイツの第5の季節はどう考えても、楽しいシーズンです！

Viel Spaß!
(楽しんでね!)

作者：クリスティーネ・バウアー（ティーネ）
問い合わせ：c.bauer@city.numata.gunma.jp

